



図書館だより

図書館本館 (広見) ☎011 5120
帷子分館 ☎011 8530
桜ヶ丘分館 ☎011 3473

開館時間 本館 火～金 午前10時～午後7時
土日祝 午前10時～午後5時
帷子・桜ヶ丘分館 午前9時～午後5時

休館日 本館・分館共通
毎週月曜日、年末年始
(12月28日(日)～1月5日(月))

※桜ヶ丘分館は、12月27日(土)は休館します。

展示のご案内 (本館)

「平成26年度 可児市人権啓発センター、人づくり課合同展覧会」
12月4日から10日は人権週間です。人権とは自分が自分らしく生きるための権利。誰もが身近にある人権問題についてこの機会に考えてみませんか。
期間 12月10日(水)まで

「大人に読んでほしい児童書」展 (図書館)
期間 12月12日(金)～27日(土)
「精霊の守り人」「獣の奏者」などで知られる作家の上橋奈穂子さんが、今年の3月に「国際アンデルセン賞・作家賞」を受賞しました。すばらしい児童文学の世界を味わってください。

新しくいった本

「青い光に魅せられて」
赤崎勇 / 著 (日本経済新聞出版社)
「ウイスキーと私」
竹鶴政孝 / 著 (NHK出版)
「トオリスケキンシ」
加納朋子 / 著 (文藝春秋)

「鹿の王 上・下」上橋奈穂子 / 著 (KADOKAWA)
「もったいないばあさんのてんごくとしごくのはなし」
真珠まりこ / 作・絵 (講談社)
「げたにげける」新美南吉 / 作
鈴木靖将 / 絵 (新樹社)

かにっ子タイム

毎週土曜日午後2時から行います。
○12月13日(土)は、かにっ子タイムクリスマス特集です。
場所 図書館本館3階 学習室
上演 人形劇団パン
演目 「ジャックと豆の木」
「トン吉くんとはりきりおばけ」
定員 親子50組 (先着順)
申込受付中!
今年も人形劇団パンがやってきます。楽しい人形劇です。ぜひきてくださいね!

CATV いきいきマイタウン 番組案内

ケーブルテレビ可児で毎日放映中!! (デジアナ7ch, デジタル12ch)

12/6 (土)～12 (金)	12/20 (土)～26 (金)
ようこそ!市長室へ	簡単!山ごはんレシピ みんなでわいわい!軽スポーツ
12/13 (土)～19 (金)	12/27 (土)～31 (水)
好きなのはカニダラー	可児市この1年

放送時刻 月～金曜日 7:00・12:00・17:00・19:00・22:00
土・日曜日 7:00・12:00・19:00・21:00
※番組の内容や時間は変更することがあります。デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。

FM rara 55 76.8MHz
KANI, MINOKAMO, MITAKE

番組案内

- 木曜日 11:20～ 「ようこそ!市長室へ」(第1)
- 「可児市ふるさと広報大使塚本明里の「あかりい話」(第2、4)
- 「可児市役所からこんにちは」(第3)
- 月～金曜日 8:00～ 「おはよう可児市役所」
- 毎週土曜日 10:00～ 「発見!可児の魅力」

かにすき 市民・行政一体型フェイスブック「かにすき」
イベントや子育て、おすすめスポットなど、市内の情報が満載!!
可児の魅力をみんなで共有しませんか?
下記QRコードを読み取る、もしくは「かにすき 可児」で検索して、今すぐアクセス!!



もう一度確認を! 災害時の情報収集

災害が発生した時、または災害が発生する恐れのある時に、防災に関する情報を市民の皆さんにお知らせします。

「防災無線」電話で確認サービス
専用電話番号 ☎0574 62 1548

※通話料金が必要です。
※防災無線放送後、24時間経過すると消去されます。

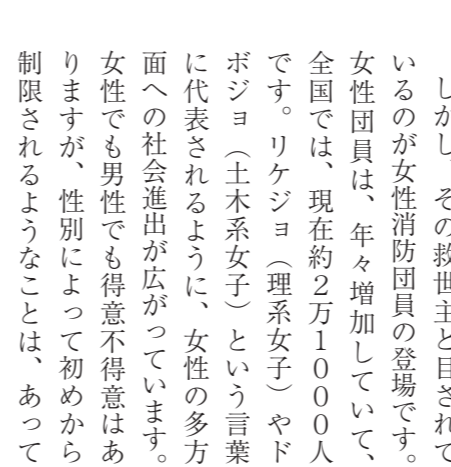
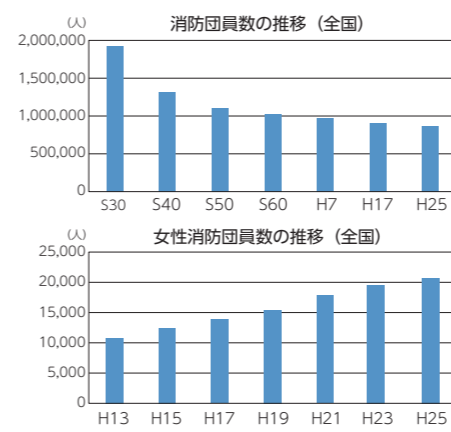
防災無線

市内各地の防災スピーカーを通じて緊急放送を流します。

すぐメールかに

あらかじめ登録した携帯電話などのメールアドレスに、災害や気象に関する情報を配信します。

登録方法はコチラ



深夜に鳴り響く消防車のサイレン。多くの市民が不安を感じます。一方で、火災発生と同時に飛び出してくる消防団員の活躍に、頼もしさを抱きます。防火防犯のための地域巡回啓発活動、災害時の土のう積みや救助捜索活動など。まさに消防団は、消防に限らず、地域の安全安心を守ってくれる守

地域の安全安心を守る 守護神に女神誕生!

深夜に鳴り響く消防車のサイレン。多くの市民が不安を感じます。一方で、火災発生と同時に飛び出してくる消防団員の活躍に、頼もしさを抱きます。防火防犯のための地域巡回啓発活動、災害時の土のう積みや救助捜索活動など。まさに消防団は、消防に限らず、地域の安全安心を守ってくれる守

護神だと思えます。

にもかかわらず、全国の消防団員数は現在約87万人。戦後間もないころの約200万人と比べると大幅な減少で、その傾向には歯止めが掛かりません。可児市でも、定員を僅かに下回る程度で現状を維持していますが、年々団員の確保が難しくなっています。

はならないことです。女性消防団員への期待が大きいのは、特に、女性ならではの視点と、消防団のイメージアップです。消防団には厳しい訓練もあり、時間も拘束されますが、その負の面ばかりが強調され過ぎています。実際には、市民の生命・財産を守るという強い使命感に突き動かされて、消防団活動に誇りと気概を抱いてくれています。そして、それを理解し支えてくれる家族がいます。そのことを女性団員が体験し、女性ならではの活動を通じて、広く伝えていってこれれば、市民の理解も深まっていくことでしょう。消防団に入って良かったことは?と尋ねると、幅広い仲間ができたこと、地域とのつながりが深まったこと、そして、消防団員である自分自身と家族に誇りをもてたことなどの答えが返ってきます。可児市でも、地域を守る誇り高い守護神に、守護神を支える10人の女神が加わってくれます。市民の皆さん、そんな素晴らしい消防団を、ぜひ応援してあげてください。

可児市長 三浦公伸

活躍する消防団の姿を見るたびに、自分も参加したいという思いを持っていました。可児市初の女性消防団として関わっていただけることをうれしく思います。女性の華やかさ、明るさで消防団のイメージアップにつなげていきたいです。これからの活動が楽しみでワクワクしています。



齊藤裕未さん

今回、可児市でも女性消防団が結成され、とてもうれしく思い入団を決意しました。幼い頃、父が消防団で活動している姿を見て育ってきたので、消防団にずっと憧れていました。これからは、父と同じように市民の方々の防火・防災活動に少しでも力になりたいと考えています。



前島那香さん